

特記仕様書

1. 工事概要

1. 工事場所 建築図参照

2. 建築概要

建物名称	構造	階数	延面積 (m ²)	消防令別表第一	備考
(仮称)豊田市駅東口駅前 基点施設新築工事	木造	1階	建築図参照	16項(イ)	
計					

3. 工事種目 (●印を付けたものを適用する)

- 空気調和設備 ● 給水設備 ● 消火設備
- 換気設備 ● 排水設備
- 衛生器具設備 ● ガス設備

4. 設備概要 (○印を付けたものを適用する)

方式及び種別	設備概要
空調方式	・空気調和 ・ダクト方式 ・パッケージ方式
給水方式	・水道直結式 ・受水槽式(加圧給水ポンプ) ・加圧給水方式(増圧給水方式)
排水方式	建築物内汚水・雑排水(・分流 ○合流) 建築物外放流先 (1) 汚水・雑排水 ・直放流下水管

II. 工事仕様

1. 共通仕様

現場説明書(現場説明に対する質問回答を含む)、本特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官庁官庁管轄部監修の機械設備工事共通仕様書(最新版)および関係設備工事標準図(最新版)による。仕様等に關しては監督員との相談による。

2. 特記仕様

- (1) ●印は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用し、●印の付いたものは適用しない。

章	項目	特記事項
● 一般共通事項	① 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設備機材等指定表によるほか、設計図書に規定するものまたは、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は監督員の承認を受け、また、(社)公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって、所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出するものとする。
	② 技能士の適用	○配管(配管工事) ○建築板金(ダクト製作及び取付) ○熱絶縁施工(保温工事) ・冷凍空気調和機施工(チリブユニット、パッケージ形空気調和機の構付及び整備) 検査及び試験を行うべき機材等は、共通仕様書による。
	③ 機材等の検査及び試験	
	④ 官公庁への手続	工事に必要な官公庁などへの手続は請負者が代行し、速やかに行う。この工事に必要な工事用電力、水及び排気管などの費用は、すべて請負者の負担とする。
	⑤ 養生その他	・構内敷ならし ○構外突出部処理
	⑥ 埋め戻し土・盛土	○管切り土中の良質土(ただしヒューム管以外の管の周囲は山砂の類) ・山砂の類引き渡しを要するもの ・なし ・あり()
	⑦ 発生材の処理	○引き渡しを要するもの以外は構外突出部処理とする。(構外突出部処理費は、本工事とする)
	⑧ 工事写真	国土交通大臣官庁官庁管轄部監修「工事写真の撮り方」改訂版(建築設備編)による。
	⑨ 完成図その他	完成図(原図1部、随筆写紙(白写真)3部、マイクロフィルムは(・不要)とする。必要とされる場合は、建築業種図による。及び保守に際する資料等3部を提出する。
	⑩ 総合調整	○本工事 ○水量調整 ○風量調整 ○初期運転状態の記録
⑪ 電圧周波数	・50Hz ○60Hz	
⑫ 容量等の表示	(1) 機器類の電力、容量等は表示された数値以上とする。 (2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原用として表示された数値以下とする。	
14 耐震措置	機器、配管、風道等は耐震を考慮し図面に指示付け、取付け又は支持を行う。耐震措置の計算及び施工方法は、次に掲げる事項以外、すべて建築設備耐震設計施工指針(最新版)による。	

(1) 機器

1) 設計用水平地震力は、機器の重量(自由表面を有する水櫃その他の貯槽にあっては有効重量)に、次に示す地域係数及び設計用標準震度を乗じたものとする。地域係数は1.0とする。設計用標準震度

最上階、屋上及び塔屋 ・1.0 ○1.5(防振機器は1.5)
中 階 間 ・0.6 ○1.0(防振機器は1.0)
地 階 及び1階床 ・0.4 ○0.6(受水櫃は1.0)

2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とした値とする。

3) 100kg以下の軽量な機器においても耐震を考慮し指示付け又は取付けを行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。

⑨ 保 温

共通仕様書機材編11章によるほか下記による。

○屋外露出部(給水管、湯水管、ドレン管、弁類を含む)は防寒保温を行う。その仕様は共通仕様書とする。

○ダクトの保温の外装

屋内露出(居室・廊下等)	○カラー鉄板
屋外露出、多湿箇所	○ステンレス鋼板

○配管の保温の外装

屋内露出(居室・廊下等)	○合成樹脂カバー
屋外露出、多湿箇所	○ステンレス鋼板

⑩ 他工事との取合い・その他

スリーブ、箱入れその他他工事との取合いは、工事区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期までに必要な位置、大きさなどを明示し監督員と打合せ。

⑪ 施工図の取扱い

施工図等の著作権に係わる当該設備に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

● 空気調和設備

2 ダクト

3 チャンパー

④ 保温及び消音内貼り

① 設計温湿度

	外 気		内					
	湿度(DB)湿度(RH)	温度(DB)湿度(RH)	一般系統	湿度(DB)湿度(RH)	湿度(DB)湿度(RH)	湿度(DB)湿度(RH)	湿度(DB)湿度(RH)	湿度(DB)湿度(RH)
夏季	35.6℃	50.6%	26.0℃	—%	—℃	—%	—℃	—%
冬季	0.2℃	48.4%	22.0℃	—%	—℃	—%	—℃	—%

低速ダクト(・ファンダクト) ○コーナーボルト工法(○共板 ・スライド)とする。

(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。

④ 保温及び消音内貼り

共通仕様書機材編による。ただし、下記については本仕様による。

○パッケージエアコンの排水管の保温は、共通仕様書機材編による。
・冷媒管の保温の外装は図面による。

屋内露出	・綿布+GP塗装	○保温化粧ケース(指定色)
屋外露出	○ステンレス鋼板	・保温化粧ケース(指定色)

⑤ その他

○高調湿対策は計算を行い必要な場合には本工事にて行う事。

① ダクト

厨房・浴室系統の排気ダクトにはシールド処理を施すこと。
厨房系統のダクトはステンレス製とする。

② 保 温

下記ダクトの保温を行う。
○OA一次側ダクト(保温の厚さ25mm)
○屋内天井内にダンパー(FD)の設置してある箇所には天井点検口(4500)を設けること。

③ その他

○給排気口(ベントキャップ)は指定色とする。
現場調査を行い、現場状況を把握した上で施工を行うこと。
設計図より現場調査を優先すること。

● 衛生器具設備

① 水 栓

○水栓栓を使用する場合、水栓は固定式とする。

○止水栓付とする。
・寒冷地対策をとること。

● 給水設備

2 量水器

3 量水器計

④ 弁 類

○水道直結部分 JIS(○10DK) ・その他の部分 JIS(○5K)

⑤ 水 栓 柱

○合成樹脂製 ○アルミニウム合金製 ・人源石とぎ出し製 ・不凍水栓柱

⑥ 管の埋設深さ

原則として、GL-600以下とする。

⑦ 保 温

共通仕様書機材編による。
屋外露出となる箇所、また凍結の恐れのある箇所には不凍対策を施すこと。
配管用ヒーター(サーモ発停)

⑧ その他

現場調査を行い、現場状況を把握した上で施工を行うこと。
設計図より現場調査を優先し施工に必要な取れる工事(撤去、新設)は本工事とする。

● 排水設備

① 洗面器等の排水管等

洗面器及び手洗器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。また排水トラップはJIS規格とする

排水配管径は器具排水負荷率法による

現場調査を行い、現場状況を把握した上で施工を行うこと。
設計図より現場調査を優先し施工に必要な取れる工事(撤去、新設)は本工事とする。

② 排 水 配 管

③ そ の 他

● ガス設備

① ガス種別

○都市ガス(13A) ・LPG(50kgボンベ用)

② メーター

○メーター(○貸与品 ・) ○メーター(・買い取り ・)

③ ガス漏れ警報器

○本工事(道断を含む) ・別途工事(緊急道断弁装置は本工事とする。)

④ 撤 去

敷地内既設配管の撤去費は本工事とする。

⑤ そ の 他

○告示昭和56年1099号に基づき施工を行うこと。

● 消火設備

① 消 火 器

・歩行距離20m以内に設置とする。

名 称	記 号	使用区分		材 質	規 格	接合法	備 考
		用途	使用圧力				
冷 媒 管	— R —	—	—	銅及び銅合金硬質引線管	JIS H 3300	溶接	断熱材被覆鋼管
ドレン管	— D —	—	—	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741	接着	断熱材被覆鋼管
		—	—	配管用硬質鋼管(白)	JIS G 3452	ねじ	SGP-白
給水管(上水)	— — — —	給水	10KN下 80KN下	硬質塩化ビニル管(HVPP)	JIS K 6741	接着	土中HIVP
汚水管	— — — —	—	—	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741	接着	V P
雑排水管	— — — —	—	—	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741	接着	V P
屋外排水管	— — — —	—	—	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741	接着	V U
通気管	— — — —	—	—	排水管同種	50A以下 VP	—	屋外露出。空置管露出は避く
ガス管	— G —	—	—	ガス会社指定配管	—	—	—

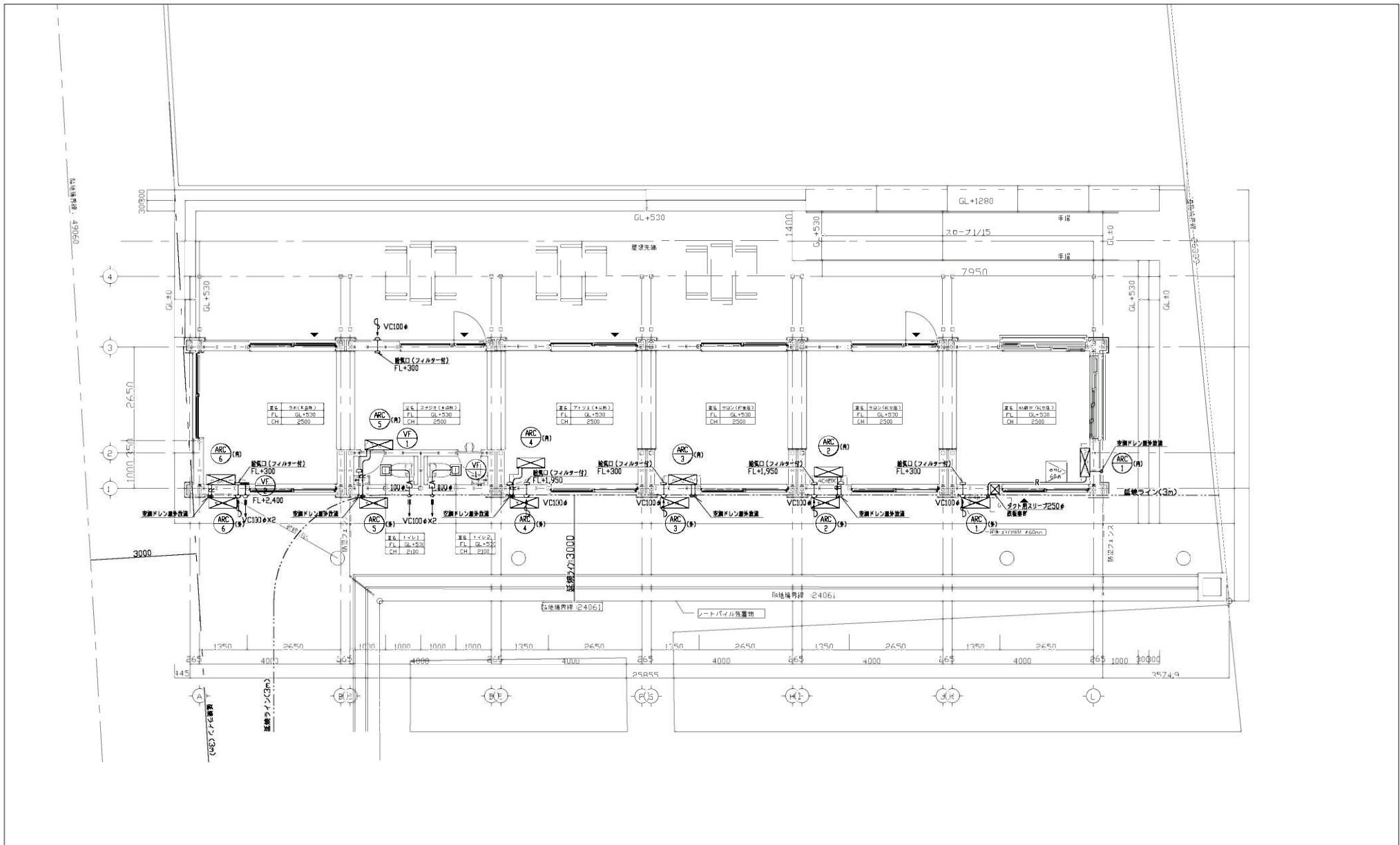
※配管材料を変更した場合は『東京都機械設備工事標準仕様書及び公共建築工事仕様書(機械設備工事編)』による。

名 称	記 号	材 質 ・ 規 格		備 考
		材 質	規 格	
空調送気ダクト	— SA —	亜鉛鉄板		φ: スパイラルダクト
空調送気ダクト	— RA —	亜鉛鉄板		φ: スパイラルダクト
換気給気ダクト	— OA —	亜鉛鉄板		φ: スパイラルダクト
換気排気ダクト	— BA —	亜鉛鉄板		φ: スパイラルダクト
ダンパー	— — — —	—	—	FD、VD、GD
天井扉	— — — —	—	—	—
ベントキャップ	— — — —	VC		指定色
給水栓 給湯栓 混合水栓	— — — —	—	—	型番は器具表による
配水栓	— — — —	T28NH13 (TOTO) ・ BOX付 (SUS製)		パキュームブレーカー付
水栓柱	— — — —	T28ANH13 (TOTO) ・ 900H		—
ゲート弁	— — — —	50A以下ねじ込み型 65A以上フランジ型		GV50A以下
チャッキ弁	— — — —	—		—
埋設弁 パルプボックス	— — — —	—		—
量水器(貸与)	— — — —	—		水道局指定
ガスメーター	— — — —	—		—
通気口	— — — —	VC		指定色
ドルジ送気弁	— — — —	—		—
地中埋設機	— — — —	鉄 製		—
		コンクリート製		—

機器表		機器仕様		電気特性		付属品・特殊仕様		防振設置		設置場所		参考型番	
機器番号	名称 (機器/系統)	数量	機器仕様	相×電圧	出力	付属品・特殊仕様		防振設置	設置場所 (階-室名)	参考型番			
ARC-1	空冷ヒートポンプ エアコン	1	型式：壁掛形 冷房能力：9.0kW 暖房能力：10.6kW 圧縮機：室内機(プラグ20A) 送風機：室外機 送風機：室内機	1x200	2.5	リモコン、その他標準付属品一式			1階 屋外 カフェ厨房	消費電力 冷房 3,100W 暖房 3,660W			
ARC-2	空冷ヒートポンプ エアコン	1	型式：壁掛形 冷房能力：9.0kW 暖房能力：10.6kW 圧縮機：室内機(プラグ20A) 送風機：室外機 送風機：室内機	1x200	2.5	リモコン、その他標準付属品一式			1階 屋外 サロン	消費電力 冷房 3,100W 暖房 3,660W			
ARC-3	空冷ヒートポンプ エアコン	1	型式：壁掛形 冷房能力：9.0kW 暖房能力：10.6kW 圧縮機：室内機(プラグ20A) 送風機：室外機 送風機：室内機	1x200	2.5	リモコン、その他標準付属品一式			1階 屋外 サロン	消費電力 冷房 3,100W 暖房 3,660W			
ARC-4	空冷ヒートポンプ エアコン	1	型式：壁掛形 冷房能力：7.1kW 暖房能力：8.5kW 圧縮機：室内機(プラグ20A) 送風機：室外機 送風機：室内機	1x200	1.9	リモコン、その他標準付属品一式			1階 屋外 アトリエ	消費電力 冷房 2,250W 暖房 3,660W			
ARC-5	空冷ヒートポンプ エアコン	1	型式：壁掛形 冷房能力：2.5kW 暖房能力：2.8kW 圧縮機：室内機(プラグ20A) 送風機：室外機 送風機：室内機	1x100	0.75	リモコン、その他標準付属品一式			1階 屋外 アトリエ	消費電力 冷房 0,920W 暖房 1,840W			
ARC-6	空冷ヒートポンプ エアコン	1	型式：壁掛形 冷房能力：7.1kW 暖房能力：8.5kW 圧縮機：室内機(プラグ20A) 送風機：室外機 送風機：室内機	1x200	1.9	リモコン、その他標準付属品一式			1階 屋外 ラボ	消費電力 冷房 2,250W 暖房 3,660W			
共通事項				付属品		1) 機器類の能力・容量は、表示された数値以上とし、電動機出力・風量は、参考値とし、冷房能力・暖房能力は、JIS能力とする。 2) 電源周波数は、60Hzとする。							
				付属品		1) 防振設置 (2t付) HN: 防振ハンガー PT: 防振パット [15t] GM: 防振ゴム SP: 防振スプリング (振動絶縁率95%以上) 2) コット基礎は、仕上げ面より150H (建築工事) とする。							

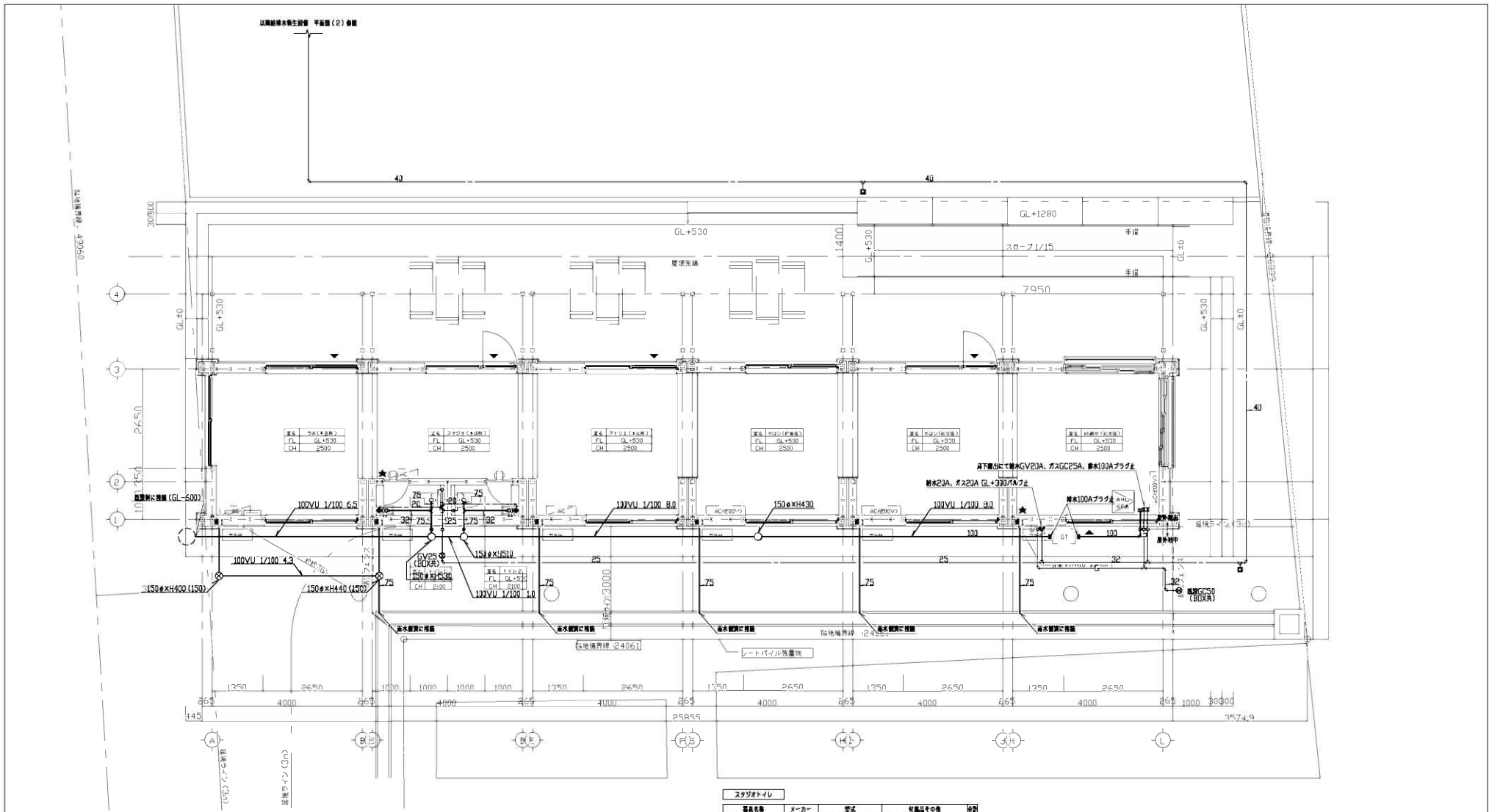
送排風機		機器仕様		電気特性		付属品・特殊仕様		防振設置		設置場所		備考	
機器番号	名称	数量	型式	設置位置	サイズ φ, #	風量 m³/h	静圧 Pa	相×電圧 φ×V	消費電力 W	付属品・特殊仕様	防振設置	設置場所 (階-室名)	備考
VF-1	排風機	2	天井扇(低騒音型)	-	100φ	50	20P	1x100	2.6	24時間スイッチ、標準付属品一式	-	1階 スタジオイ	24時間対応
VF-2	排風機	1	パイプファン	-	100φ	40	15P	1x100	2.0	24時間スイッチ、標準付属品一式	-	1階 ラボ	24時間対応
共通事項									付属品				
1) 機器類の能力・容量は、表示された数値以上とし、電動機出力・風量は、参考値とし、冷房能力・暖房能力は、JIS能力とする。 2) 電源周波数は、50Hzとする。									1) 防振設置 (2t付) HN: 防振ハンガー PT: 防振パット [15t] GM: 防振ゴム SP: 防振スプリング (振動絶縁率95%以上)				

換気風量表		面積		容積		V=nQ		V=20Af/N		設計室風量		決定風量		対象機器		備考	
階	室名	Af m²	H m	Q m³	N 回/H	V m³/H	N m³/人	Af/N 人	V m³/H	OA m³/H	EA m³/H	風量 m³/H	決定 m³/H	対象機器	備考		
1	カフェ厨房	16.00	2.500	40.00				3	5.3	106.0		106.0	25.0	VF-1	自然換気対応		
1	サロン	16.00	2.500	40.00				3	5.3	106.0		106.0	25.0	VF-2	自然換気対応		
1	サロン	16.00	2.500	40.00				3	5.3	106.0		106.0	25.0	VF-3	自然換気対応		
1	アトリエ	16.00	2.500	40.00				3	5.3	106.0		106.0	25.0	VF-4	自然換気対応		
1	スタジオ	14.00	2.500	35.00				3	4.7	94.0		105.0	-		自然換気対応		
1	スタジオイ	2.00	2.200	4.40								44.0	50.0	VF-1x2	24時間対応		
1	ラボ	16.00	2.500	40.00				3	5.3	106.0		106.0	40.0	VF-2	自然換気対応、24時間対応(シックハバ2風量60)		
共通事項														1) 防振設置 (2t付) HN: 防振ハンガー PT: 防振パット [15t] GM: 防振ゴム SP: 防振スプリング (振動絶縁率95%以上) 2) コット基礎は、仕上げ面より150H (建築工事) とする。			



① 空調室外機、室内機の取り付け位置は、冷暖配管共々とする。
 ② 空調室内機からのドレン配管は影響のある場合は25Aとする。
 ③ ARC-1,2,3,4,5の冷暖配管サイズは6.4φ×12.7φとし
 ARC-5の冷暖配管サイズは6.4φ×9.5φとする。

空調換気設備 1階平面図



スラジオトイレ				
器具名	メーカー	型式	付属品その他	台数
大便器	TOTO	AHEW/CES9898R	標準付属品一式	2
手洗器	タカノボ	VA9421	標準付属品一式	2
洗面	タカノボ	TADL399	標準付属品一式	2

外浴				
器具名	メーカー	型式	付属品その他	台数
浴槽	TOTO	T28KUNH13	標準付属品一式	3
排水ポンプ	オクダイ	626-136	標準付属品一式	3

① 1階は排水設備（設備工事）に特長を示す。
 ② 枠の表記はmmとし幅（高さ）とするが、既設対策などについては現地調査の上で特長をすること。
 その際の削減等に留意しては工事とする。
 ★：消火器（10型）
 （強化済、耐火等々に設置する事）

給排水衛生設備 1階平面図(1)

